

第28回

坪田譲治文学賞受賞のベストセラーを、『そこのみにて光輝く』の呉美保が映画化!



誰もが、誰かの、
いとしいひと。

第28回坪田譲治文学賞、2013年本屋大賞第4位に輝き、10代からシニアまで幅広い世代の人びとの心を揺んで大きな話題を呼んだ「きみはいい子」(中脇初枝著／ポプラ社刊)を、「そこのみにて光輝く」でモントリオール世界映画祭最優秀監督賞をはじめキネマ旬報監督賞、ブルーリボン監督賞など2014年の日本映画賞を総なめにした呉美保監督が映画化!

問題に真っ正面から向き合えない教師、幼い頃のトラウマによって自分の子どもを傷つけてしまう親――。

大人と子どもにまつわる現代の問題を孕みながらも、「ひとがひとを愛すること」を描いた名作が誕生しました。かつて子どもだったすべての人に贈る、珠玉の一本です。

出演は、現在放映中のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」で高杉晋作を演じ、いまもっとも注目を集め俳優・高良健吾、「そして父になる」でわが子をとり違えられた母親を演じ高く評価された尾野真千子。さらに「そこのみにて光輝く」で新境地を拓き絶賛を浴びた池脇千鶴、高橋和也が揃って出演し、前作とは打って変わった役柄に挑戦します。そのほか、ベテランの喜多道枝や日本を代表する演技派・富田靖子など、個性あふれる実力派が集結しました。



高良健吾 尾野真千子 池脇千鶴 高橋和也 喜多道枝 黒川芽以 内田慈 松嶋亮太 加部亜門 富田靖子

監督:呉美保 原作:中脇初枝「きみはいい子」(ポプラ社刊) 製作:川村英己 プロデューサー:星野秀樹 脚本:高田亮 音楽:田中拓人
メインテーマ:"circles" (selective records) Takuto Tanaka featuring Vasko Vassilev 配給・製作プロダクション:アークエンタテインメント 宣伝:シャントラバ/太秦 ©2015 アークエンタテインメント

iiko-movie.com

※このチラシで使用した映画の紹介画像等は2015年に制作されたものです。 (C) 2015 「きみはいい子」製作委員会